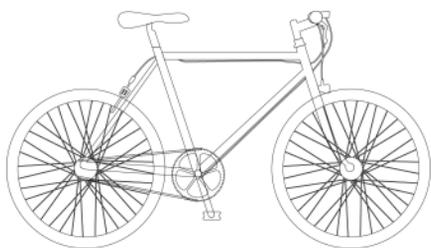


グラフィック処理システム

図形や写真データの加工・編集



【主な仕様】

・使用可能なアプリケーション

Illustrator, Photoshop, InDesign, Acrobat Pro DC, Premiere Pro, Dreamweaver他

・主な機能

図形データの作成, 文字のレイアウト, DTP作業, デジタル写真の編集, デジタル画像の加工など

・対応データ形式

ai形式, psd形式, EPS形式, indd形式, 各種画像形式(jpeg, png, bmp, tiff など)など

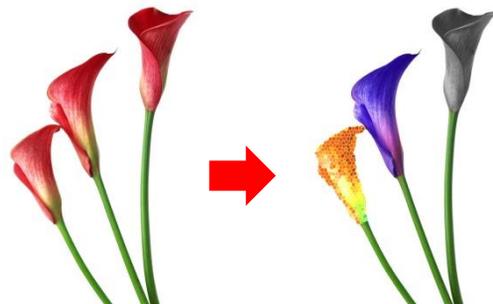
機種名

アドビシステムズ株式会社

Adobe Creative Cloud

2018年度購入

特徴



図形(ベクトル形式)や写真(ビットマップ形式)のデータを加工・編集し, 意匠性の優れたグラフィックコンテンツを作成することができます。

製作したデータは「レーザーカッターシステム」や「UVプリンター」で活用できます。

料金等

機器使用料 : 500 円 / 時

操作法説明 : 3,900 円 / 時 (6時間以上)

※印刷素材(メディア)は予備も含めてご準備ください。素材によってはインクが定着しないものもあります。

※データはイラストレーターなどの図形編集ソフトウェアを活用して作成・持参して下さい。

研究員による支援

3,900 円 / 時

グラフィック処理システム 操作方法説明

イラストレーターやフォトショップなど, 各アプリケーションの操作基礎についてご説明いたします。